


クラス	101	担当教員	うえだ かずひろ 上田 和宏
	テーマ	説明力の習得（データに基づいた考え方を身につける）	
	著書・論文 研究課題等	<p>最近の研究課題は、主に貧困や不平等、幸福感などを測ること。 “Analysis of job satisfaction: The case of Japanese private companies,” DP 2013-264 (Hokkaido Univ.), 2013. (共著) “Self-assessed Social Position and Poverty,” Review of Income and Wealth, vol.60, 2014. (共著)</p>	

ゼミナール概要

キーワード：データ、統計学、表計算、説明力

目的、内容、方法等：

データを使って考えたり説明をしたりすることができるようになることを目指す。

私たちは日常生活において数字を使った説明に触れる機会が多い。たとえば、「当社の製品は、××の成分が他社の製品に比べて○パーセント多く入っている。」「グラフを見ると、家族一人あたりの携帯電話やスマートフォンなどの利用料金が増えていることがわかる。」・・・など、数字やグラフ、あるいは表を使った説明に常に接している。

誰もが思うように、言葉だけで増えたとか減ったとか言うよりは、どの程度増えたのか減ったのかを具体的に数字で示す説明の方が、説得力がある。他人に自分の主張することをわかってもらうには、データやグラフなどを使って具体的に説明をすることが有効である。このような説明をする力は社会に出て必ず求められる。数字を扱うとなるとそれだけで敬遠してしまう人もいるが、実はそれほどハードルは高くない。食わず嫌いということもよくある。そこで、ゼミでは統計データを利用して必要な情報を取り出す方法やそれをわかりやすく示す方法などについて学んでゆく。そして実際にいろいろな統計データを利用して説明を行う練習を行う。

【2年生】

統計データを扱うための統計学の基礎知識を学ぶ / EXCEL など表計算ソフトを使うことに慣れる
学んだ知識を経済や社会の問題に応用して、レポートを書いたりプレゼンを行ったりする

統計学という数学というイメージを持っているかもしれないが、数学の力としては、足し算、引き算、掛け算、割り算を、電卓、パソコン、スマートフォンなどを使ってできる程度でよい。平均やそのほかのデータの特徴を示す指標を計算することについて学ぶが、実際の計算はEXCELなどの表計算ソフトを使う。

基礎的な内容には、数学を使わない内容もいろいろとある。たとえば、統計データにもさまざまな種類があることや、データの種類によって整理の仕方やそれを表すのに適したグラフの違いが生じることなど、知っておくと役に立つ知識も多い。そうしたことについても学んで実践で使える力を使えるようにする。

【3年生】

自分たちで決めたテーマについて研究して（小）論文を書く。就職活動で、大学時代に何に打ち込んだかと問われたとき、勉強面では「これ」と言えるものをつくる。

【4年生】

大学での「学習の成果を形として残す」ため、卒業論文を作成する。

教室の中での学習は、現実と結びついて初めて意味がある。したがって、フィールドワークなどゼミ以外の活動に関われるようにサポートするつもりである。

ゼミ合宿や工場見学、レクリエーションなどは要望に応じて考える。

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
高橋信 著 『マンガでわかる統計学』、 オーム社、2004年	<ul style="list-style-type: none"> 以下の項目のいくつかにあてはまる人と一緒に勉強したいと思います。 デパ地下で行列があれば並ぶ／食べるのが好き／国内外で行ったことがない所に行きたい／本に使うお金をもったいないと思わない／小説や漫画を読む／人前で話す自信をつけたい／意欲だけはある／まじめ